

凍結を防いで冬を乗り切ろう!



最低気温がマイナス4℃以下になると水道管内の水が凍りやすくなります。凍ってしまうと水が使えないだけでなく、水道管が破裂した場合は自己負担での修理になります。水道管凍結を防ぐため「水抜き」をして、厳しい寒さに備えましょう。

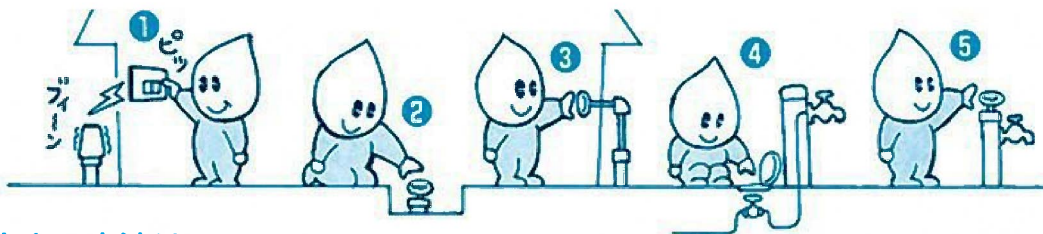


不凍栓（水抜栓）を探そう

不凍栓（水抜栓）は、右下の写真のようにハンドル式と電動式があります。蛇口の近くに見当たらない場合は、屋外で地面上の蓋がついているボックスなどを探してみましょう。

《不凍栓の場所》

- ① 電動式 キッチンや洗面所の壁などに設置
- ② ハンドル式 勝手口や玄関などに設置
- ③ ハンドル式 トイレ・洗面所の壁に設置
- ④ ハンドル式 地中に設置
- ⑤ ハンドル式 外栓上部に設置



水抜きの方法は

【ハンドル式の場合】不凍栓（水抜栓）を時計回りに回し、しっかり閉めた状態で蛇口を開けてください。水が出てこなければ完了です。

<注意> ハンドルは常に全開または全閉状態にしてください。全開または全閉の状態でない、水が流れ続けてしまう恐れがあります。

【電動式の場合】操作パネルの電源を入れて水抜ボタンを押します。その後、蛇口を開けると水道管の中の水が抜けていきます。操作後は必ず電源を切ってください。

【ハンドル式】



最後まで回すと閉まる

【電動式】



不凍栓を閉めてから、蛇口を開けて水が出ないか確認してください。



※水洗トイレの水抜きは、不凍栓を閉めた後、トイレの水を流してタンクを空にしてください。水抜き後に水を使用する場合は、蛇口を閉めた状態で、不凍栓を開け（電動式は通水ボタンを押し）ます。不凍栓を全開にした後、ゆっくりと蛇口等を開け、水道管の中に入っている空気を排出してください。

灯油の取り扱いに注意しましょう

灯油をホームタンクから移すときなど、地面に灯油をこぼしてしまうと、地中の水道管にも浸透し、水道水に臭いがついてしまうことがあります。臭いが取れない場合は、灯油のしみ込んだ土と水道管の交換工事（有料）が必要になりますので、その際は指定工事事業者にご相談ください。

灯油を取り扱う際には、目を離さないよう十分注意しましょう。

